

第2期  
六ヶ所村まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和2年2月  
青森県六ヶ所村

# 目 次

1.	位置づけ .....	1
2.	計画期間 .....	1
3.	総合戦略の基本的考え方 .....	1
(1)	第2期六ヶ所村人口ビジョンの趣旨 .....	1
(2)	総合戦略の基本目標 .....	2
(3)	まち・ひと・しごと創生に取り組む基本的視点 .....	2
(4)	数値目標 .....	3
4.	展開する施策 .....	4
(1)	ライフステージに応じた支援 .....	4
(2)	施策の体系 .....	5
(3)	主な施策 .....	6
(4)	重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator） .....	8
5.	進行管理 .....	8

## 1. 位置づけ

第2期六ヶ所村まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法第10条に規定する「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」であり、平成27年度に策定した六ヶ所村まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証を踏まえ、本村におけるまち・ひと・しごとの創生に向けた今後6か年の目標や施策の基本的方向及び具体的な施策をまとめたものである。

なお、第4次六ヶ所村総合振興計画は総合戦略の上位計画であり、その理念“郷土を愛し、未来へ躍進”と将来像“安らぎと幸せを実感できるまち”の実現は当然目指すものであるが、総合戦略においては、本村のまち・ひと・しごと創生に直接効果をもたらす施策を選択し、集中して取り組むものとする。

また、総合戦略では、SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた観点を取り入れ、地域における自律的好循環、持続可能なまちづくりを目指すものとする。

## 2. 計画期間

令和2（2020）年度から令和7（2025）年度までの6年間とする。

## 3. 総合戦略の基本的考え方

### (1) 第2期六ヶ所村人口ビジョンの趣旨

本村の人口は、むつ小川原開発の一環である原子燃料サイクル施設立地等により、全国の自治体が少子高齢化・人口減少に陥る中で、11,000人前後の人口規模で推移してきた。とりわけ原子燃料サイクル施設の稼働に伴う日本原燃株式会社従業員とその家族の居住が進んだことにより、出産・子育て層が増え出生数の回復もみられた。しかし、その流入がひと段落したこともあり、近年では転出増加による社会減が始まるとともに、新規転入層の出産のピークが過ぎ、高齢化に伴う死亡者数の増加により自然減が始まるなど、村の人口が徐々に減少を始めている。

国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計に準拠した推計（以下「社人研準拠推計」という。）によると、近年の人口推移の構造が続くと、平成27（2015）年には総人口10,536人、高齢化率23.2%であったものが、令和27（2045）年には総人口7,000人弱、高齢化率34.3%、令和47（2065）年には総人口4,800人弱、高齢化率36.5%と人口減少と高齢化の進展が予想されている。

本村では、このような中長期的・客観的な人口推計結果を真摯に受け止め、人口動向や財政状況に比較的余裕のある今のうちに、来るべき将来を見据えて積極的な人口対策に取り組んでいくという基本方針のもと、「雇用の場の選択肢を確保し、仕事に対する多様なニーズに応えられる村」「豊かな環境を活かして総合的な暮らしやすさを担保し、村内外の人から選ばれる村」「結婚・出産・子育てで世代が安心して子どもを産み・育てられる村」を目指すものとする。

## (2) 総合戦略の基本目標

地方創生は、言うまでもなく「ひと」が中心であり、長期的には、本村で「ひと」を育て、その「ひと」が「しごと」をつくり、「まち」をつくるという流れを確かなものにしていく必要があるが、現在本村が抱えている課題の根本には「しごと」や「まち」の魅力低下により「ひと」が流出するという負のスパイラルがある。

この負のスパイラルに歯止めをかけるため、まずは地域資源を活かした魅力的な「しごと」をつくり、その「しごと」が「ひと」を呼び込み、「ひと」が「しごと」を呼び込むという好循環を確立して本村への新たな人の流れを生み出し、その好循環を支える活力ある「まち」で安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境をつくり出すことが急務である。

このため、本村では、第4次六ヶ所村総合振興計画の理念“郷土を愛し、未来へ躍進”と将来像“安らぎと幸せを実感できるまち”のもと、以下を基本目標とする本村のまち・ひと・しごとの創生に、同時かつ一体的に取り組むものとする。

- ①村民が、自分らしいライフスタイルの実現に向け、それぞれの価値観に合った豊かな暮らしを実現している。
- ②村民が、幅広く職業を選択し、多様な働き方の中でやりがいを感じて社会に貢献している。
- ③村民が、安心して出産・子育てができる環境のもとで、地域と一体となって次代を担う子ども達を育成している。

## (3) まち・ひと・しごと創生に取り組む基本的視点

### ①成果（アウトカム）を重視する

- ・ 施策・事業ごとに達成すべき成果を正しく設定し、EBPM（※1）の考えのもとで PDCA サイクル（※2）を最速でまわす
- ・ 成果達成に向けてターゲットに情報を的確に届ける

### ②新しい時代の流れを力にする

- ・ SDGs（※3）を原動力とした地方創生に向け、多様なステークホルダーと連携する
- ・ Society5.0（※4）の実現に向けた未来技術を活用する

### ③民間と協働する

- ・ 都市部等外部からの人材（関係人口含む）・資金を活用する
- ・ 企業や住民、NPO など民間の取組に一層焦点を当て、それらの活動を加速させる
- ・ 都市空間の用途混在や多機能化を実現する官民ボーダレス化に取り組む
- ・ 既存ストックを企業・住民等が時間・空間で共有化（シェアリングエコノミー）する
- ・ SDGs を原動力とした地方創生に向け、多様なステークホルダーと連携する（再掲）

#### ④人材を育てる

- ・企業や住民、NPO など民間の取組に一層焦点を当て、それらの活動を加速させる（再掲）
- ・女性、高齢者、障がい者、ひきこもり、外国人など誰もが活躍の場を持てるよう育て活かす

#### ⑤地域をマネジメントする

- ・地域経営の視点を持ち、地域の強み（地域資源）を最大限に活用して地域外市場から稼ぐ力を高める

※1 EBPM：合理的根拠に基づく政策立案（Evidence-based Policy Making）

※2 PDCA：計画（Plan）・実行（Do）・点検（Check）・改善の実践（Act）の頭字語

※3 SDGs：2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標

※4 Society5.0：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会

### (4) 数値目標

第2期六ヶ所村人口ビジョンでは、当該ビジョン最終年である令和47（2065）年の総人口を8,125人としており、これは、社人研準拠推計の総人口4,771人よりも3,354人多く、今後45年間で約3,500人の人口減少を抑制することを展望として掲げている。

このことから、総合戦略の基本目標に向けたまち・ひと・しごと創生を同時かつ一体的に推進し、六ヶ所村を生活の拠点として選択していただくことで、以下の数値目標の達成を目指すものとする。

区分		基準値	目標値	摘要
人口	期日	R1.10.1	R7.10.1	住民基本台帳人口をベースとして第2期六ヶ所村人口ビジョン 将来展望人口の導出による減少率を用いて算出
	数値	<b>10,310人</b>	<b>10,081人</b>	
転出者数	期間	H24.10～H30.9	R1.10～R7.9	6年間で240人減、40人減/年 第2期六ヶ所村人口ビジョン 将来展望人口の導出 ステップ1（転出抑制）
	数値	<b>2,959人</b>	<b>2,719人</b>	
転入者数	期間	H24.10～H30.9	R1.10～R7.9	6年間で120人増、20人増/年 第2期六ヶ所村人口ビジョン 将来展望人口の導出 ステップ2（転入促進）
	数値	<b>2,673人</b>	<b>2,793人</b>	
出生数	期間	H24.10～H30.9	R1.10～R7.9	90人/年 第2期六ヶ所村人口ビジョン 将来展望人口の導出 ステップ3（出生率向上）
	数値	<b>513人</b>	<b>540人</b>	
合計特殊出生率	期間	H24年～H29年	R2年～R7年	村独自集計による
	数値	<b>1.61</b>	<b>2.13</b>	

## 4. 展開する施策

### (1) ライフステージに応じた支援

総合戦略では、「選ばれる村」＝「魅力ある村」づくりを進めるため、地方創生の中心である「ひと」に焦点を当て、必要な支援を手厚く切れ目なく提供する体制を構築し、各ライフステージにおける快適な環境を創出するという視点でソフト・ハード事業を含めた施策を展開するものとする。

また、それらの施策が地方創生の主役である「住民」に的確に伝わり、正しく理解され、十分に活用されなければ、本村のまち・ひと・しごと創生の成果は得られないとの認識のもと、「伝える」をキーワードとして施策を展開する。

### 【ライフステージサイクル】



## (2) 施策の体系

### 第4次総合振興計画

理念 “郷土を愛し、未来へ躍進”

将来像 “安らぎと幸せを実感できるまち”

#### 総合戦略 基本目標

- ① 村民が、自分らしいライフスタイルの実現に向け、それぞれの価値観に合った豊かな暮らしを実現している。
- ② 村民が、幅広く職業を選択し、多様な働き方の中でやりがいを感じて社会に貢献している。
- ③ 村民が、安心して出産・子育てができる環境のもとで、地域と一体となって次代を担う子ども達を育成している。

#### 数値目標

- 人口減少の抑制
- 転出者数の減少
- 転入者数の増加
- 出生数の維持・増加
- 合計特殊出生率の上昇

ライフステージ0

情報が行き届くまち

ライフステージ1

働きやすいまち

ライフステージ2

出合いの多いまち

ライフステージ3

子どもを産みやすいまち

ライフステージ4

子育てのまち

ライフステージ5

学び・学ばせやすいまち

ライフステージ6

快適な居住空間づくり

ライフステージ7

関係人口づくり

Large KPI : 大分類 (ライフステージ別)

Small KPI : 小分類 (事業別)

### (3) 主な施策

#### 【ライフステージ0 情報が行き届くまち】

##### 《住民目線の広聴広報》

各施策の対象者に対して必要な情報を適切に届けるため、対象者の意見を広く聴取するとともに、多種多様で効果的な手段により情報発信を行う。

#### 【ライフステージ1 働きやすいまち】

##### 《チャレンジ応援》

自己実現に向けたチャレンジの場を提供することで多様な産業の共存と、職業の選択肢を拡大する。

##### 《新しい働き方》

出産・育児と仕事の両立などワークライフバランスの向上や未来技術の活用による生産性・利便性を高める。

##### 《就きたいしごとづくり》

質・量ともに充実した雇用を背景として、就業者が社会的意義や魅力を実感し、やりがいを感じられるしごと環境を創出する。

#### 【ライフステージ2 出会いの多いまち】

##### 《多様な交流機会》

開かれた場で、誰でも気軽に会話・交流できる多様な機会を創出し、村民同士が互いに認め合い高め合うことができる地域づくりを進める。

##### 《魅力的なひとづくりと男女の出会い》

人生設計の選択肢の一つとしての結婚に関する情報提供や、結婚を希望している方に対してのスキルアップセミナー等の婚活力向上と男女の出会いの場を提供する。

#### 【ライフステージ3 子どもを産みやすいまち】

##### 《安心できる出産環境》

妊婦及びその家族が安心して妊娠期を過ごすことができる環境を提供する。

##### 《出産に伴う費用負担軽減》

誰もが経済的に安心して出産・育児に望むことができるような支援体制を構築する。

## 【ライフステージ4 子育てのまち】

### 《子育てへの不安解消》

育児に関する不安軽減と良好な母子関係の構築を支援し、育児を楽しむことができるような子育て環境を提供する。

### 《子育てと仕事の両立》

出産・育児に起因するキャリア分断の抑制やキャリア再構築をサポートするための子どもの見守り環境を提供する。

### 《子育ての費用負担軽減》

誰もが経済的に安心して子育てに望むことができるような支援体制を構築する。

## 【ライフステージ5 学び・学ばせやすいまち】

### 《教育の選択肢拡大》

それぞれの個性や能力に応じて希望する進路を選択・進学できるような環境を提供する。

### 《教育の費用負担軽減》

義務教育に係る費用負担を軽減し、子ども自らの興味・関心に基づくチャレンジにつなげる。

## 【ライフステージ6 快適な居住空間づくり】

### 《幅広い住居の選択肢》

地域の土地・建物の管理が適切になされ、防災・衛生・景観などにおいて良好な環境と快適な居住空間を提供する。

### 《移動手段の確保》

時代に即し、かつ、利用者のニーズを満たす手段により地域内外における移動の円滑化を図る。

## 【ライフステージ7 関係人口づくり】

### 《外部人材・民間のチカラの活用》

都市部等外部からの人材・資金の活用と地域内の企業・住民等の活動を加速化することにより、地域課題の解決を図る。

### 《ろっかしよ暮らし体験》

地域特有の職業体験や暮らし体験の機会を提供し、六ヶ所村の地域特性や魅力を発信する。

(4) 重要業績評価指標 (KPI : Key Performance Indicator)

LS	KPI	基準値 (年度)	目標値 (年度)
1	・しごとの満足度	67.8% (R1)	70.0% (R7)
2	・出会いの場や機会が少ないと思う男性の割合	44.3% (R1)	30.0% (R7)
	・婚姻届出件数	67件 (H28~H30平均)	72件 (R5~R7平均)
3	・妊娠・出産に関する満足度	97.3% (H30)	100% (R7)
4	・この地域で子育てをしたいと思う親の割合	84.5% (H30)	90.0% (R7)
5	・学習に関心・意欲を持つ子どもの割合	小学6年生 村 90.1% (県 80.7%) 中学3年生 村 86.9% (県 76.7%) (R1)	県平均以上 (R7)
	・児童・生徒減少率 (小1~中2⇒小2~中3)	2.1% (H28~R1平均)	1.5% (R4~R7平均)
6	・住宅整備(新規転入者向け、高齢者向け)が充実していないと考える人の割合	19.3% (R1)	15.0% (R7)
	・通勤・通学・通院等のための公共交通が充実していないと考える人の割合	38.2% (R1)	— (R7)
7	・関係人口向け村HP閲覧件数	43,401件 (R1)	150,000件 (R7)

## 5. 進行管理

本村のまち・ひと・しごと創生に当たっては、基本目標及び数値目標の達成に向けたKPIを設定し、その達成度により毎年度効果検証を行うこととする。また、総合戦略の進捗状況や社会情勢の変化など、必要に応じて総合戦略の見直しを行うことで、時代に即し、最大限の成果を発揮する施策を展開するものとする。

